

# 山 大 医 学 部 病 院 だ よ り

Yamaguchi University  
Faculty of Medicine and Health Sciences

Yamaguchi University Hospital

NEWS



間質性肺炎外来 開設

11  
2021

VOL.253



短期入院プログラムによる質の高い治療を提供

# 間質性肺炎外来

予約制

# 開設

10月6日(水)に間質性肺炎外来を開設しました。毎月第1・第3水曜日(大石景士医師)と第2・第4木曜日(浅見麻紀医師)の14時〜16時半、間質性肺炎に詳しい医師が、適切な診断と評価、最適な治療を行います。

間質性肺炎外来では、山大病院へ何人も通うのが難しい遠隔地や高齢の患者さんにも質の高い治療を受けていただけるよう「短期入院プログラム」を新たに導入しています。このプログラムでは患者さんに一週間程度の入院をさせていただき、より少ない負担で医師・薬剤師・リハビリ療法士・看護師・栄養士・ケースワーカーなどの多職種チームによる治療を受けていただくことができます。

間質性肺炎外来は、予約制で紹介状が必要となります。まずはかかりつけ医にご相談いただき、かかりつけ医療機関より予約をお願いいたします。

第1・第3水曜日担当 大石景士 医師

間質性肺炎について  
YouTubeにて解説しています。



山口大学病院 YouTube 間質性肺炎

【お問合せ】

呼吸器・感染症内科外来 TEL0836-22-2707

## 間質性肺炎とは…

「肺炎」と病名にはありますが、感染が原因の一般的な肺炎とは異なり、原因は多岐に渡ります。カビなどの抗原、アスベストなどの粉塵を長年吸入していたり、リウマチなどの膠原病が基礎にあつて発症することもあります。精密検査を行っても原因が特定できないケースを特発性間質性肺炎といい、医療助成の対象となる指定難病のひとつです。

間質性肺炎は肺組織が線維化(固くなること)することで肺活量が低下し、酸素の取り込みがうまくいかなくなり、息切れや乾いた咳などの症状が現れます。患者さんによって進行の速さは様々で、診断されるころにはかなり悪化していることもあるため、早期発見と適切な治療を行うことが重要とされています。

間質性肺炎と診断されている患者数は10万人当たり10人〜20人程度です。しかし間質性肺炎の認知度が低く、主な症状である息切れを「年のせい」と考えて医療機関を受診していない場合や、症状が乏しくて診断に至っていない場合も多いため、潜在患者数は10倍以上いと言われています。

間質性肺炎の治療については専門医がしっかり治療戦略を立てる必要があります。ステロイドや免疫抑制剤などの抗炎症治療や、線維化の進行を遅らせる抗線維化薬などのお薬に加え、リハビリや酸素吸入などの全身状態の管理なども並行してきめ細やかに行っていくことも重要です。

間質性肺炎はまだ認知度が低く病態が複雑なため、正しい診断と治療方針の決定には専門的な知識が必要です。少しでも不安があれば、なるべく早く専門医を受診してください。

第2・第4木曜日担当 浅見麻紀 医師





山口大学大学院医学系研究科  
分子細胞生理学講座(旧生理学第一講座)  
教授

宮本達雄

令和3年9月1日付で医学系研究科分子細胞生理学講座の教授を拝命しました宮本達雄(みやもと・たつお)と申します。着任にあたり「山医大医学部・病院だより」をご覧いただいている皆様に謹んでご挨拶申し上げます。

私は、山口県長門市に生まれ、山口県立大津高等学校(現在、大津緑洋高等学校)を卒業するまで、金子みすゞの世界観が今なお残る仙崎で育ちました。広島大学を卒業後、進学した京都大学大学院にて、生体と外界とのバリアの実体である細胞間接着装置・タイトジャンクション(密着結合)研究の世界的権威である月田承一郎教授(故人)に師事して、ミエリン鞘の密着結合が有髄神経の跳躍電導を保証する生理機能を明らかにし、2007年3月に博士号を取得しました。その後、日本文学振興会特別研究員を経て、2008年8月より2021年8月ま

で、広島大学原爆放射線医科学研究所にて、稀少な遺伝病の発症機構の解明に取り組んできました。この間、私は、ヒトゲノム上の特定の塩基配列を自由に書き換える「ゲノム編集」技術の開発・応用研究に携わり、遺伝病のモデル細胞や動物の作製を通じて、様々な遺伝病の発症機構を明らかにしてきました。その中の一つには、山口大学医学部の先人が発見された染色体分体早期解離症候群という高発癌性遺伝病も含まれています。また、現在、私が最も注力している、細胞表面に発達して、外界の情報をキャッチする「繊毛」の異常による、がん、動脈硬化、腎不全など患者数の多い疾患の発症機構の解明と創薬に関する研究は、山口大学医学部との共同研究から生まれたテーマです。

このように、私の研究は、山口大学医学部が源流とも言え、これから、分子細胞生理学講座にて、教育・研究に取り組みさせていただけること、大変光栄な気持ちと大きな責任を感じております。ヒトゲノム解読・編集時代の新しい生理学を通じて、故郷・山口県の医学・医療に少しでも貢献できるように、教室員一丸となって励んで参る所存です。皆様におかれましては、今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますように、何卒、よろしくお願い申し上げます。

「放射線科医の一日」の  
動画が公開されました

この度、放射線科医(入局1年目)の一日を紹介した動画を制作しました。CT・MRI画像の読影や血管内治療など診療の様子から、働き方や仕事に対する思いの面までお届けしています! 当院 YouTube「山口大学病院チャンネル」にて公開していますので、ぜひご覧ください。



動画の視聴はこちら

山口大学病院公式   
YouTubeチャンネル



## 在宅型オンライン面会 始めました!

### オンライン面会のご案内

当院では、新型コロナウイルス感染防止対策の一環として、通常の面会は禁止しておりますが、ビデオ通話アプリを使用して、入院患者さんとご家族が画面を通して面会できる「オンライン面会」(完全予約制)を提供しております。

#### 面会の種類

##### ①来院型



ご家族に来院いただき、当院が貸し出すタブレット端末を使用して、面会用ブースと病室をビデオ通話アプリでつないで面会をすることができます。

#### 【実施方法】

患者さんは病棟から、ご家族は面会用ブース(外来診療棟1階患者支援センター)で行います。

※ご家族は、予約時間の10分前までに患者支援センターにお越しください。

##### ②在宅型

NEW



ご家族のご自宅(パソコン等)と入院患者さんの病室(当院が貸し出すタブレット端末)をビデオ通話アプリ「Webex」でつないで面会をすることができます。

#### 【実施方法】

当院より、在宅型オンライン面会を実施するためのURLを記載したメールを「予約申込フォーム」に入力いただいたメールアドレスに送信しますので、面会日時になりましたら接続をお願いいたします。

#### 面会時間

- 平日15時～16時
- 1組(来院型はご家族3名まで)につき10分、1日4組まで

#### 予約方法

平日の13時～15時に患者さんが入院されている病棟にお電話にて「来院(または在宅)型オンライン面会の予約希望」とお伝えください。

①来院型: 面会日時を調整します。

②在宅型: 在宅型オンライン面会を実施するために必要となる情報を下記の「予約申込フォーム」に入力します。

<https://ds23e.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~jimu/form/?en=210915144304&pn=enquete>



※面会希望日の前日(土・日曜日、祝日を除く)までに予約をお願いいたします。

※入院患者さんご本人から申し出ていただくこともできます。その際は、病棟看護師にご相談ください。

※限られた予約枠のためご希望に添えない場合もあります。

詳細は本院ホームページをご覧ください。

[http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/news/covid-19/post\\_395.html](http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/news/covid-19/post_395.html)



お問合せ

山口大学医学部附属病院 患者支援センター  
TEL0836-22-2482



公式Facebookページで  
山大病院の情報を配信中!!



企画発行

山口大学医学部広報委員会・山口大学医学部総務課総務係  
〒755-8505 山口県宇部市南小串一丁目1番1号 TEL 0836-22-2007  
医学部 <http://www.med.yamaguchi-u.ac.jp/>  
附属病院 <http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/>